

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定7

千葉県立松戸南高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本課程を志願する動機及び理由が適切であり、自分の将来に向けて目的意識を持って学習及び学校生活に意欲的に取り組む者で、本校で主体的に学ぶ能力及び適性を有し、次のア及びイの要件を具備する者。

ア 三部制の定時制の特性を踏まえ、自己実現に向けて有効に時間を活用する意欲があること。

イ 二学期制及び単位制の利点を生かし、主体性を持ち、学習に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書。
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接。
(4) 小論文	時間40分・字数301字以上600字以内。
(5) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	① 皆勤,精勤(3年間で3日以内の欠席)は,審議の中で評価する。 ② 長欠等については審議対象としない。
ウ 行動の記録	問題となる点があれば, 審議の対象とする。
エ 特別活動及び部活動の記録	生徒会活動等で, 特に積極的に取り組んだと認められる記述について, 審議の中で評価する。
オ 総合所見	問題となる点があれば, 審議の対象とする。

(3) 面接

以下の項目について、調査書の記載と照合し、各評価項目ごとに評価し、数値化する。いずれかの項目でC評価がついたものは、審議対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由	志望理由をA, B, Cで評価する。
イ 抱負	入学後の抱負をA, B, Cで評価する。
ウ 入学前の生活	入学前の生活についてA, B, Cで評価する。
エ 社会問題	社会問題に関する認識の度合いをA, B, Cで評価する。
オ 面接態度全般	面接態度全般をA, B, Cで評価する。

(4) 小論文

以下の項目について評価し、数値化する。C評価がついた者は、審議対象とする。

評価項目	評価基準
内容及び表記	総合的にA, B, Cで評価する。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等について、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「面接」を重視し、「小論文」、「学力検査の成績」、「調査書」、「志願理由書」等を総合的に判定して、下記のとおり入学者の選抜を行う。

「面接」、「小論文」、「学力検査の成績」、「調査書」の数値の合計を総合点とし、上位から順に審議する。選抜のための各資料の内容等について、特に問題となる点のない者を入学許可候補者に内定し、問題があれば慎重に審議を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、提出されたことにより、不利益な扱いをすることがないように十分留意する。

平成28年度 成人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定7

千葉県立松戸南高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接。
(2) 作文	時間50分・字数401字以上800字以内。
(3) 志願申請書	志願者の直筆による「志願した理由」。

2 評価項目及び評価基準

(1) 面接

以下の各評価項目について評価する。いずれかの項目でC評価がついたものは、審議対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由	志望理由をA, B, Cで評価する。
イ 抱負	入学後の抱負をA, B, Cで評価する。
ウ 入学前の生活	入学前の生活についてA, B, Cで評価する。
エ 社会問題	社会問題に関する考え方をA, B, Cで評価する。
オ 面接態度全般	面接態度全般をA, B, Cで評価する。

(2) 作文

評価項目	評価基準
内容及び表記	総合的にA, B, Cで評価する。

(3) 志願申請書

評価項目	評価基準
志願した理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

「面接」、「作文」、「志願申請書」等を総合的に判定して、入学者の選抜を行う。
--

平成28年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定7

千葉県立松戸南高等学校 三部制の定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本課程を志願する動機及び理由が適切であり、自分の将来に向けて目的意識を持って学習及び学校生活に意欲的に取り組む者で、本校で主体的に学ぶ能力及び適性を有し、次のア及びイの要件を具備する者。

ア 三部制の定時制の特性を踏まえ、自己実現に向けて有効に時間を活用する意欲があること。

イ 二学期制及び単位制の利点を生かし、主体性を持ち、学習に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	出願時に申告した3教科の得点を3倍した値をその教科の得点とみなし、5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書。
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接。
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	出願時に申告した3教科の得点を3倍した値をその教科の得点とみなし、5教科の合計1100点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	① 皆勤,精勤(3年間で3日以内の欠席)は,審議の中で評価する。 ② 長欠等については審議対象としない。
ウ 行動の記録	問題となる点があれば, 審議の対象とする。
エ 特別活動及び部活動の記録	生徒会活動等で, 特に積極的に取り組んだと認められる記述について, 審議の中で評価する。
オ 総合所見	問題となる点があれば, 審議の対象とする。

(3) 面接

以下の項目について、調査書の記載と照合し、各評価項目ごとに評価する。いずれかの項目でC評価がついたものは、審議対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由	志望理由をA, B, Cで評価する。
イ 入学前の生活	入学前の生活についてA, B, Cで評価する。
ウ 社会問題	社会問題に関する認識の度合いをA, B, Cで評価する。
エ 面接態度全般	面接態度全般をA, B, Cで評価する。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願の理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等について、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、算式2で求めた数値で順位付けをして、検査の結果を資料として総合的に判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、提出されたことにより、不利益な扱いをすることがないよう十分に留意する。